



れんげ畑

鴻巣市立鴻巣中央小学校
令和3年5月号

学校教育目標
キャッチフレーズ
ホームページ

【知】友と学ぶ子 【徳】心の豊かな子 【体】体をきたえる子
「はきはき・にこにこ・きびきび」
<https://kochuo-e-konosu.edumap.jp/>

児童数371人

友と学ぼう 中央小♪

校長 清水 励

新緑の鮮やかさと、さわやかな風が心地よい季節となりました。今年度がスタートして、約1か月が経とうとしております。スタート当初、環境の変化に中々馴染むことが難しいと思われたお子さんもありましたが、どの子も自分なりに「頑張っていきたい!」という思いを感じることができ、今後の成長がとても楽しみです。

とある日の午後の教室、1年生たちが「校歌」の練習をしていました。コロナ対策で、元気に歌声を合わせることはできませんが、昨年の6年生たちが歌った校歌の録音を聞きながらの練習。中には、お家で兄姉が歌っているのを聞いていたのか、歌詞とメロディーを大体知っている1年生もいました。「青い空～ 遥かに続き～♪」で始まる本校の校歌。私は、本校の校歌が大好きです。4年前の始業式で初めて聞いた時に「とても素敵な校歌だなあ。」と感じ、今も思いは変わりません。子供たちの明るくのびやかな笑顔が溢れる学校の様子が、詩とメロディーから伝わってきます。

この校歌は、開校当時の教育長であった中根恒義氏の作詞と、世界的に活躍されている指揮者である天沼裕子氏の作曲で作られました。校長室の書庫に、作詞された中根恒義氏から、本校初代校長の石原完校長へ宛てた、校歌の歌詞についての手紙が保存されています。(以下「」内は抜粋)

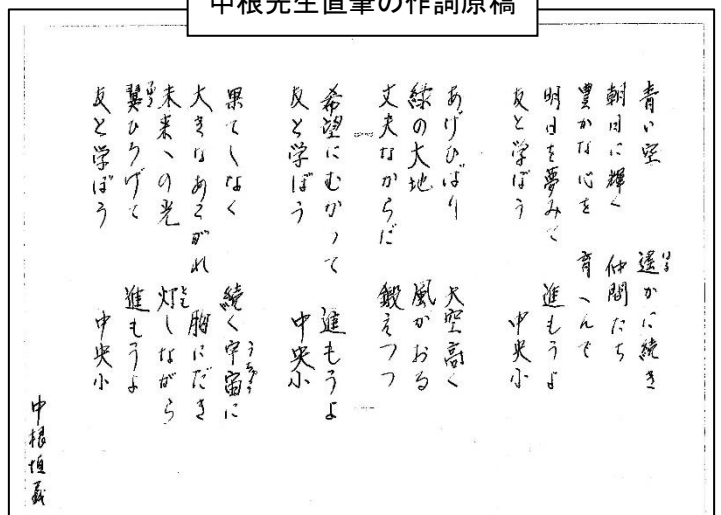
「作曲者天沼先生とのイメージが一致し、詩情をよく理解して下さったので、この詩を決定しました。

1番: 明るくのびやかな中央小の子供達に、朝日が輝いて楽しい学習生活の姿を想像しての内容。

2番: 広い大空。豊かな自然に恵まれ、春には揚雲雀(あげひばり)が空高く舞い上がり、緑の空気が薫風となってこの地域を渡ります。元気な運動姿の子供達。地域一帯に広がる様を想像しています。

3番: イメージを更に大きく広げ、21世紀へおける子供たちの宇宙時代を想像しています。小さな枠にとらわれない大らかな宇宙へ飛び出す程の活力を願って、この詩を綴りました。」

中根先生直筆の作詞原稿



中学校や高校の校歌は忘れてしまっても、小学校の校歌だけは覚えているという人は多いのではないのでしょうか。おそらく、これは校歌だけでなく、小学校時代に身に付け、その後の人生の糧や財産となる「一生の学び」となることが、他にも多くあることと思います。コロナ禍の中ですが、子供たちの学びがより豊かになるよう、保護者、地域の方々との連携・協力を深めながら、日々の教育活動にあたってまいります。今後とも、御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。